

あすなら苑 定期巡回随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議

開催日時	2026 年 6 月 18 日 (木) 10:30~12:00 (第 53 回) あすなら苑サロンにて				
運営推進会議メンバー (本日の参加者)	利用者・家族: 2 名 地域代表: 3 名 市・包括職員: 3 名 職員: 6 名 (安心・特養)				
利用者登録状況	登録者実績件数: 4 月実績件数: 124 件 看護あり: 73 件				
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
	37 名	49 名	25 名	7 名	7 名
その他事業報告	自宅での看取り 4 月 0 件 ケアプランセンター 4 月 258 件 デイサービス 4 月平均 27.9 名 ショートステイ 4 月平均 14.7 名 特養 4 月 54 床 待機者 14 名 みなし訪問看護 3 名 サロン企画 4 月累計 194 名				
報告事項	・安心システム会議: 毎月 2 回おこない、あすなら苑全体で地域と関わり職員同士の共有の場としています。あすなら苑全部署の代表が集まって会議をしています。 ・3/11 災害訓練(水害) BCP の見直しを行いました。 備蓄品をそろえることができた。行政より補助金が出る予定。 ・4 月 身体拘束適正化委員会と研修会を行いました。 ・5 月 虐待防止の委員会と研修会を行いました。 ・5/23・25 春の学習会 あすなら苑での取り組み、利用者さんの事例発表を行うことができた。 ・23 日はご家族をお招きし、25 日はサロンの方たちへ定期巡回の取り組みについてお話ししました。 ・5/30 グリーフケアコンサートを開催しました。ご家族 11 名、特養入居者さんの参加。 ・6/5 消防訓練の実施を行い、利用者、サロン参加者と一緒に避難訓練できました、避難時間は約 11 分でした ・前回の振り返り: 別紙参照 ・安心ケアシステム NS より喜ばれた事例の報告(退院受け入れ支援センターニュースの内容から)				
評価・要望・意見等	・利用者さん・ご家族への対応について・成功例にとどまらず、失敗例の意見を聞きたら尚よいかと思う、それを今後に生かすことができればと思う、ただ仕事をするのではなく、その人のために愛情をかけ意思疎通ができていくということを再度見直せた				

	・初期の認知症状がでていた時は、ご本人も隠したいと思われることがある、自尊心を傷つけないように対応することが大切 ・環境の変化で性格が変わる方もいる、穏やかな性格ときいていたが、特養に入居され、帰りたいと落ち着かない様子になられる方もおられ、座って会話することを心掛け対応している、繰り返しおこなうことで信頼関係が築けると思う。 ・デイサービス利用者のご家族より・・・利用拒否がないよう、職員にはうまく対応してもらえていると思う、デイに通わなくなると本当に外に出ないことになると思うので助かっている、何かあれば連絡ももらっている ・これから高齢者が増えてくる中で、特養の待機者も増えてくると思う、柔軟に対応してもらえるとありがたい ・サロンも非常に賑やか、元気なうちから関わりを持ちあすなら苑を知ってもらう、自分がサロンやデイに行くことで学んだことを地域の方へ伝えることもしている、自分が日常生活に支障がでてきたり、できないことが増えた時に安心できると思う ・出生率 1.2 人くらい、今後人口減少傾向で若い世代への負担が大きくなることが予想されている ・自宅の近くにあすなら苑のような施設があることで、安心感につながっていると思う ・クリーンキャンペーンでは自治会の方と一緒に参加し、自治会長さんは雨の中活躍してくださった、ありがとうございました ・世代が変わっていても、あすなら苑を利用したいという意見がきけて嬉しい、今後もそのような声がきけるように頑張っていく ・法人で今年度 10 名採用、あすなら苑へは 3 名配属されました、温かく見守っていただけますと幸いです ・高齢の方だけでなく、車両についている「あっちゃんマーク」をみて、子供も関心をもってくれている姿をみると嬉しく思う ・あすなら苑は太陽光発電と蓄電池つけているが、災害時にあすなら苑の規模すべては賄えない、今後の災害に備え、利用者さんの生活を守るためにも、行政からの補助金で蓄電池等の備蓄品の購入することができ安心感につながった、BCP に備蓄品 3 日間と掲げているので、確保するようにしている ・参加の回数を重ねていくごとに、あすなら苑への関心が強くなっており理解できているように思える ・利用者の状態把握のため、ケアバレットを使用し、職員間の連携など迅速に対応していると聞きすごいと感じた
--	--

	・地域の方、事業所の声をきく機会は貴重だと思った ・包括の職員になって地域への意識が強くなった ・介護事業所の職員は、時間を経て変わることがあっても、地域の方は変わることはない、高齢者が増え続けることもあり、地域の中で支える力をつけていく必要があると感じている、第3包括では「みまもりアンテナ隊」を立ち上げた、地域の方への声かけ、見守りをしている、ただける方を募集している、 ・地域の中で2、3年経過の孤独死の方がおられた、地域で支えられるよう力をつけていくことが必要 ・なかなか入居できないとの意見もある、あすなら苑の特養は54床と決まっていて待機者もいる、 ・安心ケアシステムで自宅で包括的な支援を行っている、定期巡回サービスがあるので力になれるように今後も務めていく ・災害時には地域の方と協力し対応していきたい
今後の予定	・5、10、15、20、25、30日（サロン 11時～体操と食事） ・こども広場（毎週 月 水 金 16:30～） ・次回の介護医療連携推進会議は2027年2月頃開催予定